

平成 26 年第 6 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 12 月 4 日（5 日・8 日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	勝野 正規	<p><u>1. 市道路の面整備（改良・舗装補修）について（建設部長）</u>                      可児市には、空路も海路もなく、あるのは陸路だけである。地域経済を活性化するため、および快適な市民生活向上のためにも計画的な道路整備が重要である。</p>
2	富田 牧子 （日本共産党 可児市議団）	<p><u>1. 教育委員会の活性化を（教育長）</u>                      本年 6 月の新地方教育行政法で、教育行政における責任体制の明確化、審議の活性化等、教育委員会の改革が行われることになった。教育委員会を形骸化させず、住民自治の機関としていかに活性化させるかが課題だ。</p> <p><u>2. 可児駅前施設はもっと子育てに重点を置いた施設に（企画経済部長）</u>                      先ごろ発表された可児駅前施設の企画設計書では、“子育て・健康・にぎわい”の 3 つのテーマを内容とした施設の様であるが、ぜひ“子育て”を一番に置いた施設としての充実を望む。</p> <p><u>3. グランドルールの終了を（市民部長）</u>                      岐阜県環境整備事業協同組合との間に結ばれたし尿等の収集に関するグランドルール協定の終了は、平成 28 年度末となっている。随意契約での業務提供は、この時点で終了すべきだ。</p>
3	小川 富貴	<p><u>1. 認知症対策は（健康福祉部参事）</u>                      老々介護の現場で認知症による電車事故が起こった。高齢化の進行、家族形態の変化と若者の低賃金、社会保障制度の変化などの中で、本市の認知症対策を問う</p> <p><u>2. 100%交付金施策の検証（教育長）</u>                      過去、交付金による電子黒板の購入が行われた。最近の会計検査院の調査で全国的に有効活用ができていないという検証がされているが、本市の状況は。</p>
4	澤野 伸 （誠颯会）	<p><u>1. 市長選挙公約の「地域・経済の元気づくり」の中身を問う（市長・企画経済部参事）</u>                      市長選挙公約の「観光交流人口を倍増させ、地域のヒト、モノ、カネの動きを活発にします」と「地域の元気づくりを推進します」の具体的な施策の推進について問う。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
5	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. 本市の教育委員会改革について問う (市長・教育長・教育委員会事務局長)</u> 平成27年4月1日施行の改正地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、本市の教育委員会の改革と市長が期待する新教育長の人物像と教育に対する政治的中立についての見解を求める。</p> <p><u>2. 本市の子育て支援策について問う (健康福祉部参事)</u> 本市ではマイナス10カ月(妊娠)から子育てを支援するとしている。子育て支援や予防接種について、各個人の状況にあわせたメール配信事業に対し本市の見解を問う。また、移動式赤ちゃん駅の導入を求める。</p> <p><u>3. 本市のMC I (軽度認知障害) について問う (健康福祉部参事)</u> 認知症でもなく正常ともいえないMC I (軽度認知障害) の有病者が全国で約380万人いると推計されている。MC I かどうか判定できる脳の健康チェックの仕組みの導入について本市の見解を問う。</p>
6	天羽 良明 (誠颯会)	<p><u>1. 市長再選後のスポーツ振興について (市民部長・建設部長)</u> 公約の中の「KYBスタジアムなどを拠点にスポーツ振興を図る。」という点について今後4年間のスポーツ振興の方針を問う。</p>
7	中村 悟 (新当クラブ)	<p><u>1. 若者(20代)に対する施策について問う (企画経済部長)</u> 活気あるまちづくりには、20代の若者の元気な活動が必要不可欠である。あまり費用も掛からず、面倒な手続きや制限・規制の緩い自由な居場所や環境を可児市につくってほしい。</p>
8	伊藤 英生 (民主ネット可児)	<p><u>1. 雇用の安定で未婚率上昇を防げ (企画経済部参事)</u> 平成22年国勢調査によると市内男性の35%、女性の26%(15歳以上65歳未満)が未婚となっている。結婚への意識の変化もあるが非正規雇用の拡大など、雇用の不安定化もその一因と考える。市の対応を問う。</p>
9	佐伯 哲也 (誠颯会)	<p><u>1. 水道施設の耐震化 (水道部長)</u> 可児市水道施設の耐震化について、現在の状況と今後のビジョンについて問う。</p> <p><u>2. 可児の団地に住もう! 空き家・空き地バンク (建設部長)</u> 空き家・空き地バンクの現在の状況と、来年4月1日より施行する「可児市空き家等の適正管理に関する条例」との関係について問う。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
10	板津 博之 (誠颯会)	<p><u>1. 「住みごこち日本一のまち」とは (企画経済部長)</u> 今年6月に「住みよさランキング2014」が発表され、本市は総合で289位であった。この結果に対する本市の分析と評価は。また、市長の考える「住みごこち日本一」のまちとは何か。</p>
11	山根 一男 (民主ネット可児)	<p><u>1. 可児駅前拠点施設はにぎわいを創出できるか (企画経済部長)</u> 可児駅前拠点施設の企画設計書が発表された。子育て・健康・にぎわい空間という位置づけだが、本当ににぎわいを創出できるのか。さらなる工夫を促したい。</p> <p><u>2. 人口減少時代の産業振興のあり方は (企画経済部参事)</u> 少子高齢化・人口減少時代を迎える中、それぞれの市町は生き残りをかけて都市間競争の時代に入っている。産業振興のあり方もこれまで通りでは通らない。当市の産業振興ビジョンを問う。</p>
12	伊藤 健二 (日本共産党可児市議団)	<p><u>1. 母子家庭等の国保税に軽減措置を (健康福祉部長)</u> 国民生活基礎調査の子どもの貧困率が過去最悪だ。市国保税は3方式算定により母子家庭世帯には税率が高めに影響する。国保広域化・県統合の前に、独自の軽減特例措置を具体化すべきだ。</p> <p><u>2. リニア中央新幹線対策で責任ある組織体制整備を (企画経済部長)</u> リニア中央新幹線問題で、可児市長は環境諸問題を受け止め、住民の立場から建設計画を監視・点検すべきだ。</p> <p><u>3. 都市計画道路の建設計画はどうなったのか (建設部長)</u> 都市計画道路広見土田線が着工直前に放置されたまま10年になる。無責任を漫然と放置させずに県行政に決着を求めよ。</p>
13	川上 文浩 (誠颯会)	<p><u>1. 市長選挙における選挙公約について (市長)</u> 本年10月26日に投開票された可児市長選挙について、選挙公約実現に向けた今後の行政運営について問う</p> <p><u>2. 市長選挙における投票率について (選挙管理委員会書記長)</u> 本年10月26日に投開票された可児市長選挙について、低投票率であったが投票率向上に向けた啓発活動はどのように行ったか、また今後の対策は。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。